



津波の浸入を防ぐ防波壁って

どんな構造なの？



浜岡原子力発電所
土木建築部 土木課
安藤 晃 主任

浜岡原子力発電所の防波壁は、津波が敷地内に入ってくるのを防ぐために、とても頑丈な構造になっています。その特長をご紹介します！

ふつうの壁じゃないの？



防波壁の構造を見てみよう！

予想される
最大の津波に備えた
海拔**22m**

御前崎市において
最大と言われる21mの津波にも
耐えられるようにしています。

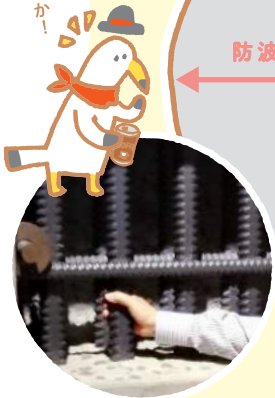
最大級の
鉄筋を使用

！原寸大！！

防波壁で使用している鉄筋

直径**5.1cm**

缶コーヒーと
同じ大きさなのか！



巨大な津波に耐えられる
よう、JIS規格で最大級の
直径5.1cmの鉄筋を使用。
15階建てマンションの鉄筋
よりもとても太いものです。

L字構造

波の力に粘り強く
持ちこたえられる
構造です。



地中にも
最深約**30m**の
鉄筋の壁（地中壁）

鉄筋コンクリート造の地中壁を
地下10～30mにある岩盤から
立ち上げて防波壁を
支えています。

地下
**10m～
30m**
程度

地中

岩盤

大きな
壁だなあ



福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



つくった人に聞きました!

地域の皆さんの安心を願い、
技術と経験を駆使した強い壁を。



防波壁の建設を担ったのはJFEエンジニアリング。明石海峡大橋や羽田空港D滑走路などを手がけてきた鋼構造のエキスパート企業です。その技術者の皆さんによると、「浜岡では、これまでの経験と先端



左から▷JFEエンジニアリング株式会社 三井田洋介さん・辻岡和男さん・高橋昌克さん

技術を結集した」とのこと。また「東日本大震災後、いち早く地域の皆さんに安心していただくために」と、工期の短縮にも挑戦。防波壁に羽田空港D滑走路の建設でも用いられた最新の溶接技術を採用したり、工法の工夫を重ねるなどして、高い強度を実現しながら、短期間で巨大な防波壁を完成させました。

かもじろうの発見!



防波壁の大きさも
支えている技術も
安全をとことん追求
した結果なんだね。

発電所の
安全性を
高めるために



土木建設部 土木課
安藤 晃 主任

東日本大震災の直後から、当社は自主的な判断のもと、防波壁の建設をはじめました。一般的な防波堤や防潮堤の建設とは違い、経験ゼロからのスタートでしたが、地域の方々の不安を少しでも早く軽減したいと決断。想定を超える地震や津波にも耐えられる構造を目指し、多くの方々協力によって2015年末、海拔22m、総延長約1.6kmにおよぶ防波壁が完成しました。もちろん、安全対策はこれだけではありません。万一、津波が防波壁を越えた場合に備えて、何重もの対策をとっています。今後も常に新しい知見を取り入れ、発電所の安全性を高めていきます。

入館無料



実物大模型を体感! 浜岡原子力館に行ってみよう!

浜岡原子力館では、実物大の防波壁模型を展示。地中壁の中の構造を見ることもできます。海拔22mのスケールを体感してみよう!

- ・ 開館時間▷9時~17時
- ・ 休館日▷毎月第3月曜日(祝日・振替休日
の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月3日)
- ・ 【お問い合わせ】TEL:0537-85-2424
〒437-1695 静岡県御前崎市佐倉5561
www.chuden.co.jp/hamaoka-pr
- ・ ※8月は休館日なし ※悪天候等により臨時休館の可能性あります。*ベビーカー・車椅子などの無料貸し出しもあります。



中部電力

広報部 コミュニケーション推進グループ お問い合わせ:052-951-8211 平日9:00~17:00(土日祝、12/29~1/3は除く)